



# 食文化啓発シンポジウム

2020年東京オリンピック・パラリンピックで  
世界から注目される日本の食はオーガニック!?

## 選手村にオーガニックを!

ロンドン大会以来、オリ・パラ選手村はフードビジョン（食材調達基準）に基づき食材が集められます。その基準は地元産（国産優先）、持続可能な農業、オーガニック、季節の野菜、フェアトレード、栄養バランスに優れたメニューなどです。オーガニックが日本に広がる絶好のチャンス到来!!



### 開催日時 及び会場

●開催日時:2016年8月26日(金曜日)

14:00~  
受付開始

14:30  
開始

基調講演  
日本のオーガニックの  
現状と展望

シンポジウム  
オーガニックの魅力と  
将来性について

16:30  
終了

●開催場所:上野精養軒 〒110-8715 東京都台東区上野公園4-58 TEL.03-3821-2181(代)  
※オーガニック食材使用の試食コーナーを設けております。

- 基調講演 「日本のオーガニックの現状と展望」
- シンポジウム 「オーガニックの魅力と将来性について」

#### パネリスト



#### 河内幸男氏

農林水産省 生産局 農業環境対策課長

農林水産省農業環境対策課長として、オーガニック・エコ農業、GAP、土づくり、温暖化対策等を推進。農林水産省のみならず、他省庁(科学技術庁、インドネシア日本大使館、経済産業省バイオ課、内閣府総合科学技術会議)、地方自治体(滋賀県安土町役場、島根県出雲市副市長)の経験も多い。「現場主義と全体俯瞰、深い専門性と異分野融合、産学官の強みと弱みが噛み合った時に創造が生まれる」を信条に、目指すべきオーガニック社会像を描きつつ、具体策に取り組んでいる。

#### パネリスト



#### 杉田かおる氏

女優/自然農業者

オーガニックダイエットの実践を機にオーガニックに目覚め、ローフード、マクロビオティック、有機農業や自然農を学びシードマイスターを取得。財団法人結核予防会の大使、北海道平取町トマト大使を歴任。佐賀県武雄市の食育アドバイザーを務め、2016年観光大使に任命される。在来種の保存・継承の活動の一環としてドキュメンタリー映画「よみがえりのレシピ」ミュージカル劇「しあわせのタネ」のサポーターとしてイベントに出演。

### シンポジウム 出演者

#### パネリスト



#### 服部幸應氏

学校法人 服部学園 服部栄養専門学校 理事長・校長  
(一財)日本食生活文化財団 理事

(公社)全国調理師養成施設協会会長、(一社)全国栄養士養成施設協会常任理事、農林水産省「食育推進会議」委員、等を歴任。昭和20年生まれ、東京都出身、立教大学卒。昭和大学医学部博士課程学位取得。健康大使/日本食普及の親善大使。著書に「食育力」(マガジンハウス)、「家庭の食育」(キラジェンヌ)、「なぜ、好きなものだけ食べてはいけないの?」(シーアンドアール研究所)、「食べて元気!」(デアゴスティーニ)、その他多数。

#### ファシリテーター



#### 山口タカ氏

(一社)オーガニックヴィレッジジャパン 理事・事務局長  
ORGANIC VISION 編集長

オーガニックを広めることをライフワークとし、全国の有機生産者から加工製造メーカー、宅配・流通、レストラン等を取材し、2001年「オーガニック電話帳」第1版を自費出版。以後、改訂を重ねながら、2011年11月に第6版を発行。2012年5月には電子版も発売。2007年には人気漫画「美味しんぼ」第101巻「食の安全」シリーズをコーディネート。有機の水先案内人として登場し、全国の有機の新しい担い手たちを訪ねながら、有機の魅力と「食の安全・安心」の現状を紹介している。

- 募集定員:100名(先着順) ●参加費:2,000円/1人
- 申込方法:往復はがき又はメールにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号、参加希望人数(1件につき2名様まで・同伴の方のお名前もご記入ください)を明記の上、お申込みください。入場券は、返信はがき又はメールにてお知らせします。
- 応募締切:平成28年8月10日(水曜日)消印有効
- 申込先:〒104-0045 東京都中央区築地4-2-7-507  
一般財団法人 日本食生活文化財団 宛 /メールアドレス neki@nsb.or.jp